

社協だより

No.36 令和3年10月号



左から、濱中 町共同募金委員長、高坂 副町長、元木 県共同募金会長、玉川 県共同募金会常務理事

10月1日からの赤い羽根共同募金運動の開催にあたり、七戸町の高坂副町長を表敬訪問しました。
今年度は、七戸町の協力により、七戸町のマスコットキャラクター「ねがいかなうちゃん」のピンバ
ッジとステッカーを作成しました。

皆様、共同募金活動への温かいご協力をお願いします。

も	■ 赤い羽根共同募金運動・活動報告 …… 2
<	■ 地域福祉事業のご案内 …… 3
じ	■ 事業のご案内・職員募集等 …… 4

公式ウェブサイト <http://www.7shakyo.com/>
七戸町社協 検索 「七戸町社協」で検索!!



Face book ページ
みなさんの「いいね」お待ちしております!

社会福祉法人七戸町社会福祉協議会

「天間屋」特製 カスタードタルトセット プレゼント

ご家族・お友達・お孫さん等と一緒に作ってみませんか

内 容 住民の皆様にはコミュニケーションの場を提供することを目的に、「天間屋」の特製カスタードタルトセット(5号)をプレゼントいたします。
※お好きなフルーツ等をご自身で準備し、デコレーションを楽しんでいただきます。

受取日時 令和3年11月27日(土)・28日(日) 9:00~12:00 両日各15組

参加対象 下記①~④の全てに当てはまる方

①七戸町内在住の方で、ご家族・お友達など2名様以上でタルト作りができる方

(同一住所につき1件の申込みとさせていただきます。)

②受け取り当日中にデコレーションし、召し上がることができる方

③カスタードタルトとご家族様等と一緒に写っている写真とコメントを、LINE等で本会宛に送っていただける方

④広報誌、ウェブサイト等に、お名前、写真、コメントの掲載に同意いただける方

参 加 費 無料

受取方法 事前送付の引換券により、「天間屋」でカスタードクリームとタルト台を受け取ってください。

定 員 30組

申込方法 10月22日(金)までに、申込書をFAX又はLINE等で応募してください。

当選された方には11月12日(金)までに、決定通知と引換券を送付いたします。

そ の 他 新型コロナウイルス感染症予防対策にご留意の上、タルト作りと写真撮影をお願いします。

※詳細は別に毎戸配付のチラシをご覧ください。【担当/原子(恵)】



タルト台



タルト台&カスタードクリーム



盛り付け例(フルーツタルト)



なないろミュージアム開催について

本会では、新型コロナウイルス感染拡大の影響で「おうち時間」が増えていることを考慮し、皆様から『えがお』をテーマにした作品を応募いただきました。当初2日間での展示会開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響を鑑み、1日のみの開催とさせていただきます。

日 時 10月31日(日) 午前10時から午後3時まで
場 所 ゆうづらんど

★当日来場された方には、くじ引きなどをお楽しみいただけます。

※新型コロナウイルス感染拡大により中止となる場合は、本会公式ウェブサイトでご案内させていただきます。

第14回七戸町社会福祉大会中止のお知らせ

10月26日(火)に開催を予定しておりました「第14回七戸町社会福祉大会」は、新型コロナウイルス感染症を考慮し、中止となりました。

ケアマネージャー募集

未経験者歓迎!!

お気軽に何でも
お問い合わせください!

本会では、ケアマネージャー(正職員)を募集しております。
詳しくは、本会公式ウェブサイトをご覧ください。
お問い合わせください。

電話 0176-62-6790
【担当/原子剛】



社会福祉法人
七戸町社会福祉協議会

Shichinohe Town Council of Social Welfare

編 集 ・ 発 行

〒039-2505 青森県上北郡七戸町字立野頭139-1 ゆうづらんど内
電 話: 0176-62-6790(代表)/FAX: 0176-62-3628
メール: home@7shakyo.com

地域の力 地域の福祉事業のご案内 支えあい

赤ちゃん誕生祝い事業 「ウェルカムベビーギフト」

本会では七戸町民の出生をお祝いするとともに、地域の子どもの健やかな成長を願い、令和3年9月より、親子のコミュニケーションを促すおもちゃの支給を行っております。

対象者 七戸町に令和3年4月1日以降に生まれた乳児を養育する保護者で乳児の出生日に七戸町に住所があり現に居住している方

内容 木育に着目し、青森ヒバ専門店「わいどの木」(有限会社村口産業)のヒバ木工品「つみき」と「さかなつり」のセットをプレゼントします。



プレゼントするヒバ木工品「つみき」と「さかなつり」

申込方法

- ①母子健康手帳、②運転免許証、マイナンバーカード又は住民票等③印鑑の3つをご持参のうえ、本会までお越しください。
- ②ご来所の際、本会にて申請書にご記入いただきます。
※本会公式ウェブサイト及びFacebookより、本事業の利用申請書(様式第1号)をダウンロードしてお持ちいただくことも可能です。
- ③申請書類等に不備がなければ、「ウェルカムベビーギフト」を即日支給いたします。

申請期限 出生から1年以内 【担当/小笠原】

みんなが安心して暮らせる地域での支えあい「ほのぼのネットワーク活動」

「ほのぼのネットワーク活動」とは、地域に住む方々同士の支え合いの取り組みで、町内会・分館からご推薦いただいたボランティア「ほのぼの連絡員」、「ほのぼの交流協力員」による、ちょっとした気配りによる日常적인見守り活動です。

地域での関係づくりや見守り・支援活動充実のため、交流会活動・除雪活動に対して助成金を交付しています。

ほのぼの交流会活動

地域での見守り・支えあい活動を充実させていくため、要援護者との交流会・軽スポーツや昔遊び、創作活動、会食等を実施している町内会・分館に対して助成金を交付しています。



コロナ対策でマスクケース作りを通して交流

ほのぼの除雪活動

七戸町の冬に、雪は切り離せないもので、援助を必要とする方々は、除雪に苦慮されております。町内会・分館においては、除雪ボランティアとして登録し、除雪が困難な要援護者に対して、見守り活動の中で除雪への対応をお願いしております。申請については、11月上旬に町内会長・分館長にご案内させていただきます。
※除雪活動を実施していない町内会・分館もあります。

地域の見守り活動への感染症対策をお手伝いします!!

新型コロナウイルス感染症拡大防止策として、ほのぼの交流会活動、ほのぼの除雪活動を実施する町内会・分館にマスク、アルコール消毒液、非接触体温計(1回のみ)を支給しております。

【担当/原子(恵)】



赤い羽根共同募金にご協力お願いします ～10月1日よりスタートします!～

赤い羽根共同募金運動がみなさまのやさしい心に支えられて、10月1日から全国一斉に行われます。

この募金は、地域ごとの使いみちや集める額を事前に決め、「助成計画」を立てており、その助成計画に基づいて、七戸町では1世帯当たりの目安額を600円に定めて募金をお願いしております。今年度は、七戸町マスコットキャラクター「ねがいかなうちゃん」のステッカーで、町内会長、常会長又は班長を通じてお願いに伺いますので、毎戸の募金にご協力をお願いいたします。



毎戸募金用ステッカー

「ねがいかなうちゃん」ピンバッジも作成いたしました。このピンバッジは、七戸町総合福祉センターゆうずらんどで、毎戸募金とは別に500円以上の募金をくださった方に、募金へのお礼として進呈いたします。



ゆうずらんど窓口募金ピンバッジ

《令和2年度 七戸町共同募金実績 2,752,493円》



各福祉団体への助成金	456,000円
ほのぼの交流会活動・除雪活動関係	864,724円
ボランティア推進校関係	182,450円
福祉作品コンクール関係	140,788円
地域福祉推進費	256,038円

令和2年度は青森県共同募金会からの助成金合計1,900,000円を、左記のとおり配分いたしました。

【担当/作田】

活動報告1

七戸中学校から福祉に役立てるためにプルタブをいただきました!

9月10日(金)、七戸中学校(萌出昌彦 校長)から、プルタブをいただきました。同校福祉委員会が中心となって、約6年かけて集めた4つのポリバケツいっぱいのプルタブは110kg!福祉委員会委員長 田中翔太さん、副委員長 山本悠真さんは、「このプルタブが、社会福祉に役立てられれば嬉しいです。」と述べておりました。本会では、誰でも気軽に始められるボランティア活動として、収集ボランティア活動を推進しております。いただいたプルタブは換金し、本会の地域福祉事業へ充てさせていただきます。 【担当/小笠原】



七戸中学校福祉委員会のみなさん

城南小学校6年生に高齢者疑似体験・車イス体験をしていただきました!!

活動報告2



車イス移送車の乗車体験

7月13日(火)、城南小学校(泉隆知 校長)の6年生18名が高齢者疑似体験・車イス体験を通し、高齢者福祉を学びました。高齢者疑似体験では、75歳から80歳の体の状態を体験できているセットを身に着け、指の感覚が鈍った状態での名前の記入、目の見え方の変化、関節の動かしづらさ等を体験しました。また車イスの体験では、車イスに乗った状態での段差の昇降、車イス移送車への乗車や操作を体験しました。体験した児童は、「高齢者に思いやりを持って、お手伝いすることが大切だと思いました。」「福祉の仕事は、高齢者の生活を支えるすごい仕事なのだと感じました。」と感想を述べておりました。 【担当/原子(恵)】